

令和7年第6回水俣市教育委員会定例会会議録

開催日	令和7年6月27日(金)		
場所	水俣市役所2階会議室		
会議種類	定例会		
出席委員	平尾 雅述	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	森下 知恵子	委員	
教育長	蓑田 誠一		
欠席委員	なし		
事務局出席者	設楽 聡	教育課長	
	大川 尊	教育課学校教育室長	
	山内 一也	教育課生涯学習室長	
	田畑 和彦	教育課学校給食センター所長	
	草野 裕美子	教育課指導主事	
	田上 朋史	教育課学校教育室次長	
	柏木 美香	教育課学校教育室主事	
署名者	蓑田 誠一	教育長	
	平尾 雅述	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	森下 知恵子	委員	
傍聴者	無		
開会宣言	午後1時30分		
<p>1 非公開とする審議事項</p> <p>1) 協議第2号を非公開とすることについて 学校教育室</p> <p>2 報告</p> <p>1) 教育長報告</p> <p>2) 各課報告</p> <p style="padding-left: 20px;">① 6月議会について 学校教育室 生涯学習室 給食センター</p> <p style="padding-left: 20px;">② (公財)水俣市振興公社自主文化事業・(公財)熊本県立劇場ネットワーク事業「声優朗読劇フォアレーゼン」公演に係る名義後援について 生涯学習室</p> <p>3 議事</p> <p>1) 審議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">① 第64回熊本県中学校英語教育研究大会芦北・水俣大会に係る名義後援について 学校教育室</p>			

② 第3回熊本県小学校英語教育研究大会（芦北・水俣大会）に係る名義後援について	学校教育室
③ 第19回蘇峰先生顕彰会に係る共催について	生涯学習室
④ 2025年度書き損じはがき回収プログラムに係る名義後援について	学校教育室
2) 協議事項	
① 令和7年7月の教育委員会定例会の開催日程について	学校教育室
② 学校教育活動の現状について	学校教育室
4 その他	
1) 令和7年7月の行事予定について	学校教育室
1 非公開とする審議事項	

【案件】	協議第2号を非公開とすることについて
【説明】 大川 尊 学校教育室長	個人情報等を含むため、協議第2号は非公開を提案します。
各委員	はい。
【採決】	承認
2 報告事項	
1) 教育長報告	
蓑田 誠一教育長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>6月21日と22日の2日間にわたり、郡市中体連大会が開催され、水俣の子供たちが頑張っていました。参加チーム数は少なくなり、野球、サッカーは合同チームです。今後、部活動は地域移行していきます。今がまさに過渡期にあります。この地域移行では、人づくりや地域おこしも考えて進めていければと考えています。</p> <p>次に、不登校と学力向上について、特に不登校に関し、各校においても取組は行われてきておりますが、もっと子供や保護者に寄り添う方法を考えていきます。対症療法も大事ですが、子供たちが自分の足で歩き、夢を実現していくことができるように、市民みんなで応援ができるようにしていきます。これから夏休みに入っていきますが、学期中はアウトプットが多かったと思いますので、インプットすることの多い夏休みになればと思います。市としましても、夏休みだからこそできる取組もあると考えています。</p> <p>報告は、以上です。何か質問はございますか。</p>
平尾 雅述委員	郡市中体連大会について、結果一覧表はありますか。
蓑田 誠一教育長	後ほど配布させていただきます。
山田 誠次委員	私も参加しましたが、天候的に日差しも強く、毎年、厳しくなっている気

	<p>がします。7月の県大会も大変そうなので、時期の見直しを議論していいかもしれませんね。</p> <p>不登校に関しては、確かに対症療法だけではなく、体質改善につながる取組を地域ぐるみで考えていかないと解決できないと思います。</p>
蓑田 誠一教育長	<p>不登校を克服した家庭や保護者から、今、困っている保護者に対してアドバイスなどできないか、長い目で見た方策も必要だと思います。</p>
本田 恵津子委員	<p>中体連大会に関しては、屋外競技は思いやられますね。屋内競技に関しては、エアコンが整備されましたので、快適に実施されていました。ただ、今まではにぎやかな声が、体育館の外にも響いておりましたが、今は閉め切って開催するため、少し様変わりした感じはします。</p> <p>ただ、やはり参加者が少なくなっていますね。特に女子のバスケットボールに関しては、水俣芦北地区で1チームしかないため、いきなり県大会進出でした。</p>
2) 各課報告	
報告第1号	6月議会について
大川 尊 学校教育室長 山内 一也 生涯学習室長 田畑 和彦 学校給食センター 所長	<p>(配布資料をもとに説明)</p> <p>学校教育室 生涯学習室 学校給食センター</p>
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	<p>不登校に関しては、各先生方にとって対応が負担になっています。家庭への連絡も行う必要があります。保護者自身も、マイナス面で負い目を感じているかもしれません。アンケートを取って、対策のヒントを探るなど、保護者への対応も必要だと思います。</p> <p>給食費の無償化については、全額補償が果たして教育的にいいことなのかということもあります。保護者も食育の一環として理解して、市から補助が出ていることも認識すべきです。</p>
森下 知恵子委員	<p>学校給食に関して、最近、福岡市でのから揚げが一個だけというニュースがありました。水俣市もから揚げは1個ですが、他の野菜などとセットでバランスよく配膳されますし、あれは見せ方だよと子供は言っています。</p> <p>水俣市の給食は量が多ければ減らすことはできるし、足りない場合は、残っている物を追加することもできるので、いつもきれいになくなるそうです。水俣の給食は美味しいと子供たちは満足しているようです。</p>
平尾 雅述委員	SDGsを考えると、やはり給食の残りは減らしたいですね。その辺の意識を保護者と子供と一緒に考える機会があるといいですね。
蓑田 誠一教育長	給食だけではありませんが、感謝できる子どもは立派だなと思います。世界を見渡せば、給食を食べることができるだけでも、素晴らしい社会なんだよと、そのことは子どもだけでなく大人も学んでいく必要がありますね。
山田 誠次委員	<p>不登校の話が大きく出て、昨年度の何十人という数字も衝撃的ですが、不登校という言葉を知ると、1日も学校に通えていない児童生徒というイメージを一般的には抱くようです。実際はそうではなく、年間30日を超えたら不登校ですので、そういう数字はご存じない人が多いようです。</p> <p>月ごとの数字にすれば、月に3～4日で1年間合計30日越えという感じ</p>

	<p>になりますよね。不登校については、ただ人数だけではなく、内容についても正しく伝えるべきかなと思いました。</p> <p>給食については、学校とは何なのかというところも含めて考える必要があると思います。テストで結果が反映される学力向上も大事ですが、今までの論調としては、豊かな心とか、学校に通うことの大切さなどを言っても、最終的には学力向上に結び付ける論調が強いと思います。</p> <p>健康な体、健康な心、学力などを3本柱として、子供たちが将来に向かってしなやかで強く優しく生きていくための底力を付けてあげるのが学校だよと教えてあげるべきですね。そう考えると、給食の質や量は、学力とは関係なく、必須の大事な要素であると思います。国は無償化を言っていますが、これは貧困対策だけではなく、純粋に子供たちの体を育て、生きることへの意識を強く持ってもらうための、1日1食分ではあるけど、本当に大事なことだという位置づけでやっていってほしいです。</p> <p>豊かな心を兼ね備えた子供たちを育てることこそ大事なことであり、少しくらい勉強ができなくても、堂々と学校に通ってきてくださいと受け入れてあげて、そして、学校以外の居場所を作る前に、学校こそがすべての子供たちにとって居心地のいい場所になることこそが必要だと思います。</p>
蓑田 誠一教育長	<p>学校教育は、今、自分たちが頑張っ支えないと、由々しき事態になってくると思います。国全体で不登校が増えていても、水俣市は逆に減らしていく方向にもっていきたいと思います。現在、不登校は国全体で36万人程度だと文科省の担当者から直接聞きました。でも、水俣に来て学校に通えば、面白いぞと、水俣スタイルのようなものができれば、と思っています。</p>
報告第2号	<p>(公財)水俣市振興公社自主文化事業・(公財)熊本県立劇場ネットワーク事業「声優朗読劇フォアレーゼン」公演に係る名義後援について</p>
大川 尊 学校教育室長	<p>(配布資料をもとに説明) 生涯学習室(大川室長:代理説明)</p>
蓑田 誠一教育長	<p>何か質問はございますか。</p>
平尾 雅述委員	<p>新しい試みとしての朗読劇だと思いますが、どのような内容でしょうか。</p>
大川 尊 学校教育室長	<p>有名な声優の方々による朗読劇であると聞いています。</p>
本田 恵津子委員	<p>入場料は、一般が5,000円ということで、これは補助が入ったの価格でしょうか。本当はもっと高いのかなとも思いました。</p>
大川 尊 学校教育室長	<p>金額面での詳細に関しては把握しておりません。</p>
<p>3 議事</p>	
<p>1) 審議事項</p>	
議第1号	<p>第64回熊本県中学校英語教育研究大会芦北・水俣大会に係る名義後援について</p>
大川 尊 学校教育室長	<p>(配布資料をもとに説明) 学校教育室</p>
蓑田 誠一教育長	<p>何か質問はございますか。</p>
平尾 雅述委員	<p>今回の事業に関しては、オンラインはありませんか。</p>
大川 尊	<p>特に聞いておりません。</p>

学校教育室長	
蓑田 誠一教育長	今回の事業に関しては、オンラインではなく、実際に集まっていたき、教育振興に寄与する事業であると聞いています。それではこの件は、御承認いただいてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
【採決】	承認
議第2号	第3回熊本県小学校英語教育研究大会（芦北・水俣大会）に係る名義後援について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
蓑田 誠一教育長	中学生に関しては64回の歴史がある事業ですが、小学生に関しては、小学校での英語教育の開始がありましたので、最近始まり、今回で3回目となります。 それではこの件は、御承認いただいてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
【採決】	承認
議第3号	第19回蘇峰先生顕彰会に係る共催について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室（大川室長：代理説明）
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
山田 誠次委員	事業名は、昨年度も「蘇峰先生」だったのでしょうか。徳富蘇峰ではなく、あえて先生と記載しているところに意味があるのかなと思いましたのでお尋ねしました。
大川 尊 学校教育室長	後ほど確認してから報告いたします。
蓑田 誠一教育長	それではこの件は、御承認いただいてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
【採決】	承認
議第4号	2025年度書き損じはがき回収プログラムに係る名義後援について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
森下 知恵子委員	非常に意味のある事業だと思いますが、はがきを何枚集めたとか、この事業の結果報告は来ていますか。
大川 尊 学校教育室長	ホームページ上に活動報告は記載されておりますが、お尋ねいただきました件は、後ほど確認させていただきます。

蓑田 誠一教育長	それではこの件は、御承認いただいてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
協議第1号	令和7年7月の教育委員会定例会の開催日程について
大川 尊 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
協議第2号	学校教育活動の現状について
草野 裕美子 教育課指導主事	(報告の概要) ① 5月の小中学校長期欠席児童生徒報告について ② 5月の児童生徒事故・非行報告について ③ その他
	《非公開》
4 その他	
1)	令和7年7月の行事予定について
草野 裕美子 教育課指導主事	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
蓑田 誠一教育長	何か質問はございますか。
本田 恵津子委員	今後の学校訪問に関するスケジュールはどうなっていますか。
草野 裕美子 教育課指導主事	会議終了後に、一覧表を配布いたします。
2)	その他
蓑田 誠一教育長	本日の議題は全て終了しましたが、それ以外に、各委員から何かありますか。
本田 恵津子委員	中学校部活動の地域移行に関して、現在の進捗状況はいかがでしょうか。
田上 朋史 学校教育室次長	3月の定例教育委員会でも説明しましたが、3月に地域移行(展開)推進計画を策定しました。教育委員会が管理主体となり、部活動の教育的効果を継承するため、学校長が実施主体として、子供たちの活動機会を引き続き確保できればと考えています。 4月以降の動きとして、国は、地域移行という言葉地域展開に変更します。地域に丸投げするのではなく、学校も含めた地域全体で子供たちの活動環境を支えていきたいと思います。水俣市の計画もそこを見越して、地域移行(展開)としております。 また、今後、国の方で、地域展開に伴う地域クラブと、既存の民間のクラブチームとの違いと認定基準を示すとのこと。今後、それに基づき、市町村の教育委員会が認定していくことになるようです。そのようなチームは、これまでの学校部活動同様、郡市中体連大会から出場できるよう。さらに、国は、公費負担や受益者負担など、費用負担の在り方も示すとのことですので、今後、そちらに従い考えていくことになると思います。

	<p>水俣市では、令和8年9月から地域展開を行う予定ですが、推進計画はあくまでも制度の骨格を定めたものであり、本当に計画通りに実施できるのか、現在、各校の部活動顧問に対するヒアリングを行っております。その中では、活動状況、地域との連携状況、地域展開後の先生の指導の希望、そして、計画どおり地域展開していくことは可能か、どのように地域展開すべきか、そういうことを明らかにしていければと思います。</p> <p>その後、各種目協会や地域指導者に対して、必要に応じてヒアリングを行いたいと考えています。</p> <p>そして、下半期に入って、具体的な移行調整を行うこととなりますので、種目ごとに、学校、地域指導者、保護者会、教育委員会で一堂に会して協議していく必要があるのかなと思います。現在進めているヒアリングでも、そのような話が先生方から出されたところです。</p> <p>それと並行して、必要な予算を検討していくこととなりますが、現在の状況とこれからの予定に関しては、以上となります。</p>
本田 恵津子委員	<p>3月に推進計画は策定されましたが、内容を確認し、今後行うべきことなどを考えると大変だと感じています。</p> <p>今後解決しなければならない問題も数多く残されているようです。</p> <p>中学校部活動の地域移行は、教育委員会の重点目標に位置付けられていますよね。それなのに、以前から言おうと思っていたのですが、教育委員会の職員数は減っているようです。果たして今の体制で、このたくさんの課題を解決できるのでしょうか。計画どおりに進めていくことができるように、人員増を働きかけるべきだと思います、年度の初めの時期に言うべきかなと思いました。</p>
蓑田 誠一教育長	<p>ありがとうございます。非常に大変な仕事であると思っています。</p>
本田 恵津子委員	<p>部活動顧問の先生方のヒアリングだけでも大変な仕事だと思います。さらにそれを取りまとめて分析して、短い期間で仕上げてしまわなければならないし、本当にできるのかなと心配しています。</p>
大川 尊 学校教育室長	<p>そのことは重々承知しております。可能でしたら、他市町村のように地域移行の事務を担うコーディネーターを採用したいとは思いますが、まずは、現在、各学校部活動顧問に対して行っているヒアリングを優先し、それらの結果をまとめたうえで、考えたいと思います。</p>
本田 恵津子委員	<p>とにかく、重要な事業だと思われまますので、体制を整えていただけたらと思います、質問させてもらいました。</p>
山田 誠次委員	<p>令和8年9月からの地域移行、地域展開を目指すということで、今の小学校6年生は対象になるということですよね。</p>
田上 朋史 学校教育室次長	<p>そうなります。</p>
山田 誠次委員	<p>知り合いの子供さんですが、来年、袋中に入学するにあたり、卓球部がないということで、これが一中にはあるそうです。合同練習などはできるのか、中体連に合同チームとして出場できるのか、その辺が気になっていることでした。</p> <p>サッカーに関しては、合同チームで出場していますが、これは、各校にサッカー部があって、人数が足りないから合同部活動とされています。卓球に関しては、袋中に卓球部がないのに、自分だけ一中に行って合同チームに入れるのか、ということのお尋ねがあり、私もはっきりとは分かりませんと答えておきました。</p> <p>練習などはできるかもしれませんが、試合に出るときにどういう扱いになるのか、その辺が決まっていたら教えてください。</p>

<p>田上 朋史 学校教育室次長</p>	<p>現在、学校部活動は文化部も含めて12種目あり、それぞれで事情が異なります。団体競技のサッカー、バスケット、野球が合同部活動で出場しています。そして、拠点校部活動というものがあります。これはどこかの学校を拠点校として指定して活動を行うもので、今は剣道が拠点校部活動を行っており、緑東中と二中から一中に来て、大会に出るときには一中として出場します。この場合、一中が拠点校になりますので、二中と緑東中には剣道部を設置する必要はありません。</p> <p>お訪ねの卓球部ですが、一中卓球部は部員数も多く、また、地域連携も進んでいて、一中卓球部は週に3回、総合体育館で練習を行っております。その際に、部活動からリレーする形で水俣市卓球協会の指導も受けており、そこに先ほどの袋小の子どもと一緒に練習をしていると思います。</p> <p>地域展開後、中体連大会にも一緒に出場できるようにするためには、剣道のように一中が地域クラブ活動の拠点校を立ち上げ、そこに他校の生徒が参加するような形ができないか検討中です。</p> <p>そしてこれは、卓球だけではなく、ソフトテニスや新体操、バレーボールについても、同様の状況であり、市内4校のうち1校にしか設置されていない種目については、必要に応じて拠点校的な調整を行っていく必要があるものと考えております。</p>
<p>山田 誠次委員</p>	<p>ありがとうございます。よく分かりました。</p>
<p>蓑田 誠一教育長</p>	<p>その他で何かございませんか。</p>
<p>大川 尊 学校教育室長</p>	<p>先ほど御承認をいただきました、議第3号、第19回蘇峰先生顕彰会に係る共催の件で、山田委員からお尋ねをいただいておりますので、補足説明をいたします。事業名称が、昨年度から蘇峰先生となっていたかとのことですが、確認しましたら、昨年度も同様の事業名になっておりました。</p> <p>なお、同時期に筆塚顕彰書道展が開催されますが、こちらは徳富蘇峰筆塚顕彰書道展となっております。</p>
<p>山田 誠次委員</p>	<p>御確認ありがとうございます。</p>
<p>大川 尊 学校教育室長</p>	<p>併せまして、こちら先ほど、御承認をいただきました、議第4号、2025年度書き損じはがき回収プログラムに係る名義後援ですが、補足説明があります。</p>
<p>田上 朋史 学校教育室次長</p>	<p>森下委員より、当該事業に係る実績報告の内容について御質問をいただきましたが、昨年度の実績報告に係る資料を確認すると、193の学校及び団体から回収したはがき、切手、テレホンカード等の枚数や換金額、そしてそれらを現地での地雷撤去事業に使用した件などが報告されております。</p>
<p>森下 知恵子委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>蓑田 誠一教育長</p>	<p>その他で何かございませんか。</p>
<p>平尾 雅述委員</p>	<p>7月22日の事業で、共創型次世代教員研修共創探求コースというのがありますが、これはどういう意味でしょうか。言葉がよく分からなくて。</p>
<p>草野 裕美子 教育課指導主事</p>	<p>県が主催する研修ですが、今年度から様々な研修がテーマ性を帯びた名前が変わっています。今回お尋ねの研修は、これまでの5年経験者の研修会であり、こういう言葉に変えてありますが、確かに分かりにくいという声もあるようです。</p>
<p>閉会宣言</p>	<p>午後3時10分</p>